

EVO フルデジタルワークステーション概要

EVO はビデオ、フィルム、音楽のためのフルデジタルのオーディオプロダクションシステムです。ミキシング、プロセッシング、ビルトインビデオ、SD と HD ファイルフォーマットのシームレスワークフローのために、Fairlight の FPGA ベースのハードウェアでハイトラックカウントを提供します。

コンソールはレコーディング、エディティング、ミキシング、ビデオの統合プラットフォームでコストパフォーマンスにおける業界リーダーシップを実現することをねらいとしています。

Evo は既存の Fairlight 製品とファイル互換があり操作性が同じです。Fairlight 製品ファミリーの確固たる一員で、ホームオペレーションからトランスファールーム、ADR ルームへ準備段階を含む最終ダビング作業迄を網羅しています。



EVO は何が新しいか？

ミキシングコンソールとして EVO はインラインコントロールとすべてのフェーダーのフルカラー表示を備えながらプライスパフォーマンスに卓越しています。センターセクションはレコーディング、エディティング、ミキシングをフルにコントロールするための Fairlight の革新的なセルフラベリング Xynergi キーで設計されています。EVO のビルトインプロフェッショナルモニタリングセクションは、複雑なサラウンドミキシング操作を簡素化し、複数のフォーマットでのミックスを、同時に完全オートメート化することができます。また、信号パスには 36 ビット浮動小数点オーディオ処理を行い、ヘッドルームと高効率符号化方式で全てのハイエンドプログラムに対応します。

ハイライト:

- ・新しいサーフステクノロジー—セルフラベリングキースイッチを備え、統合された Xynergi センターセクション。



- ・新しいタッチスクリーン'ブリッジ'による豊かなグラフィクスとチャンネルフィードバック。
- ・新しいフェーダーパネルでカラーOLED スクリーン(有機 LED)採用による強化されたオートメーションフィードバックとミキシングプロセスの表示。



- ・新しい In-Line Panel(ILP)による洗練されたファンクションごとのノブのチャンネルパラメータへのアクセス。大型ミキシングコンソール感覚。



Master Control Panel (MCP)

Master Control Panel は Xynergi コントローラーと同じように働きます。セルフラベリングキーの採用によってエディティング、レコーディング、ミキシング、モニタリング、セットアップオペレーションの間の切替え作業が迅速に行えます。

すべての QWERTY ファンクションは同じキーで扱われ、ネーミングオペレーションを始めるといつでも自動的にポップアップされます。

固定ファンクションキーのグループは次のような必須のファンクションへのアクセスを保証します。

- ・ジョグホイール、ロケーター、ジャンプキー、トランスポート“スマート”を含むトランスポートキー
- ・コントロールルームとスタジオのモニターボリュームとミュート
- ・ロケーション、タイムコードエントリー、その他の数値ファンクション用のヌメリックキーパッド
- ・Undo と Redo ボタン

Master Control panel はシステムの心臓部を形成し、すべてのファンクションにダイレクトにアクセスでき、レイヤーやより詳細なパラメーターにもアクセスすることができます。残りのシステムパネルはミキシングコントロールを選択し即座にアクセスして表示させることができます。

Fader Panel II with OLED(FP)

Fader Panel II は Fairlight の新しい、パワフルなフェーダーバンクで従来のミキシング方式でよりローカルなコントロールができるように再設計されています。12 のモーター駆動フェーダーと 12 のアサインブルロータリーコントロールを組み込んだパネルはコンソールの任意のチャンネルグループのコントロールを簡単に切り替えることができます。新世代フルカラーOLED は FP II の特徴です。その大きなサイズと強力なグラフィック性能によって、チャンネルネーム、VCA グルーピング、システム証明書、フェーダー値、統合されたチャンネルメーター同様リアルタイムタッチ、タッチステータス(オン/オフ)、オートメーションステータス(リード、ライト、トリム、プレビュー)のようなオートメーションステータス情報といったチャンネルフィードバックを提供します。超ワイドな視角によってどの位置からもチャンネルの詳細を見ることができます。EVO はスクリーンに表示された情報を自動的に管理し、重要な情報をストレス無くより迅速に認識できるようにしています。



In Line Panel (ILP) と In Line Screen Panel (ISP)

In Line Panel 設計は大型のミキシングコントロールのキーです。In Line Panel は下部の Fader Panel と一緒に働きます。12 ポジションのそれぞれが下のチャンネルの 4 つのタッチセンスロータリーノブとスイッチにリンクしています。すぐ上の ILP は In Line Screen Panel (ISP) にタッチスクリーンを組み込み、ロータリーノブとスイッチのファンクションのフィードバックを提供します。スクリーンはグラフィクス表示が実際のノブとスイッチのすぐ上にくるような位置になっています。ILP は一度に要求されるチャンネルパラメーターコントロールのレベルによっていくつかの異なるモードで操作することができます。

Upper Center Panel (UCP)

Upper Center Section は Xynergi Centre Section を補足し、コントロールとディスプレイの追加的意味を提供します。

パネルは ISP パネルのスクリーンと並んで組み込まれた 20 インチタッチスクリーンと、スクリーンの下

の 3 つのサブパネルのスペースからなっています。いくつかのサブパネルオプションがあり、ジョイスティックパンナー、マウスパッド、フィルムスタイル PEC ダイレクトスイッチングのためのマスターコントロールパネルなどを指定することができます。このスクリーンはトラックプレイバックソフトウェアのために考えられたものですが、好きなスクリーン情報を表示できるように統合ビデオスイッチャーに対応させることもできます。



Dynamic Resolution Optimisation (DRO)

いつものように、新しいテクノロジーは新しい機会をつくります。Fairlight は CC-1 の FPGA チップのプログラミングの柔軟性を使って異なるビットデプスで異なるプロセスを走らせています。これは Dynamic Resolution Optimisation (DRO) と呼ばれます。従来の DSP ベースのシステムはいくつかのプロセスがよりよいレゾリューションが必要で、もう一方はそれほどのレゾリューションが必要でない場合であっても、すべてのプロセスを終始 1 つのレゾリューションで行なっていました。Fairlight の Cristal Core システムでは、各プロセスはそのニーズにきっちりと合わせて効率よく設計されています。DRO では、EQ プロセッシングのいくつかのパラメーターは 72 ビット浮動小数点精度で実行され、デジタルサウンドを最終的にアナログ時代から失われたクオリティを実現するのに必要な幅広いヘッドルームを実現しています。ミキシングは 36 ビット浮動小数点精度で実行され、市場に現在出回っている他のシステムよりよいオーディオクオリティを大きく向上させています。同時に、メータリングファンクションには 16 ビット固定小数点レゾリューションにし、他のチャンネルが使うことのできるプロセッシングパワーを残しておきます。Dynamic Resolution Optimisation (DRO) は Fairlight エンジニアが各システムタスクのために選んだ最良のプロセッシングコントロールです。これは卓絶したオーディオクオリティを確保するだけでなく、システム全体のプロセッシングパワーを効率加させ、より低いコストでより優れたパフォーマンスを発揮します。



CrystalCore FPGA の主要な性能

- ・それぞれがフル EQ とダイナミクスを備えた 200 を超えるチャンネル
- ・プラグインを含む 60,000 を超えるパラメーターのオートメーション
- ・フルプロセッシングでの 0.5mS 以下のレイテンシー
- ・素早いダイナミクスオペレーションレスポンス
- ・統合された 192トラックディスクレコーダー/エディター
- ・エディティング能力をもった統合された HD と SD ビデオトラック
- ・アナログ、デジタル、MADI の幅広い I/O コンフィグレーション
- ・VST と Rewire プラグインサポート
- ・マルチフォーマットミキシング能力
- ・統合されたモニタリングマトリクス
- ・コラボレートワークフローツールのフルサポート